

令和3年度 第4学年 授業改善推進プラン

	授業改善のねらい	具体的な授業改善策	評価 (○成果 ▲課題)
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や感想を書く際に、課題に正対して答えることや文末の書き方についての意識を高める。 ・効果的な言語活動を設定し、言語能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何をめあてに学習するのか、何を聞かれているのかなど、目標や質問の意図を明確にした授業を展開する。 ・意味の分からない言葉が出てきた時に辞書を使って調べる時間を設け、語彙を増やす。 ・図書室を活用する時間を増やす。 	
社 会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から読み取りを行うだけでなく、そこから比較したり、自分の経験と照らし合わせたりして考えを深める。 ・学習してまとめたものを、児童同士で読み合ったり、発表したりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を比較するためのポイントを示したり、日常生活と学習内容が関わる場면을例示したりして、児童の思考を促す。 ・学習してまとめたものを、互いに発表したり読み合ったりして、感想を伝えたり、自分の考えを深めたりする場を設定する。 	
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に対して、既習事項を振り返り、根拠をもとに自分の意見をもたせる。 ・コンパスや分度器を用いて、正確に作図（角や三角形など）をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合いを取り入れて交流させることによって、自分の意見を明確化させる。前時までの内容を振り返ることができるよう、ノートづくりを工夫する。 ・適用問題や計算ドリルなどを用いて繰り返し練習する時間を十分に設ける。 	
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然事象に興味関心をもち、すすんで調べようとする意欲や、最後まで追求する態度を養う。 ・実験や観察の結果を自分なりの言葉で工夫して記録させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験の中での気づきや発見を大切にして学習が進められるよう、授業の流れや言葉かけを工夫する。 ・実験や観察の視点を明確にしたり、既習事項から結果を結び付けられるような発問や助言をしたりする。 	
体 育	<ul style="list-style-type: none"> ・何をめあてに運動するのかを明確にして授業を展開する。 ・児童同士が運動を見合い、アドバイスしたり励まし合ったりする場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動の際、そのポイントや主運動へのつながりなどを示し、児童が運動のめあてを意識して活動に取り組めるようにする。 ・振り返りやペア、グループでの活動の時間を設定することで、友達の動きのよさを見つけたり、こつを教えたりする場を確保するようにする。 	